教養教育科目 講義科目

授業科目名	異文化コミュニケーション論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	髙橋　玲	GA46	1	2

科目の概要

グローバリズムの進展はボーダレス化を生み、結果として、異文化接触の機会を増加させる。異文化接触は、差異に対する興味と関心とを増加させる一方で、差異に対する偏見と差別も同時に生み出す危険性をはらむ。真の異文化理解には、差異に対する価値中立的なまなざしと、文化の背景を学び取る姿勢が必要である。この科目では、「自己／他者」の差異から生じるコミュニケーションの困難さを乗り越えるための知識の習得を目指す。

科目の到達目標

①文化とは何か。その基礎的内容を理解し、コミュニケーションに役立てることができる。
②アイデンティティの複数性と多様性を知り、ポストモダンの文脈で世界を見る眼を持つことができる。
③異文化コミュニケーションにおける障壁の背景を学ぶことで、現実のコミュニケーションを適切なものにすることができる。

テキスト	『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』石井 敏 他,有斐閣,2013年

テキストの読み方

①登場するキーワード（教科書中の太字）について、それぞれの意味を調べ、自分でまとめながら読む。
②それぞれの「問題」について、「背景－内容－対策－残された問題」あるいは「原因－結果」という枠組みで整理する。
③それぞれの「テーマ」（教科書中の見出し）に関して、自分の経験や日々のニュースなど、「具体的事例」に関連付けるとともに、①②③を必ずノートに書く（「読んで終わり」にせず、「自分のノート」を作り上げる）。
④異文化理解を深めるため、広く、文芸、芸術、映画、演劇などにも積極的に触れておくこと。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②iNet スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。